

平成29年度 富山県衛生研究所・研究成果発表会プログラム

日時：平成29年11月9日(木) 15:00~17:00

場所：富山明治安田生命ホール

(富山市宝町1丁目3-10)

1. 開会・衛生研究所の概要 (15:00~15:15)

2. 研究成果発表 (15:15~17:00)

① 富山県の浴用施設以外の環境中におけるレジオネラ属菌検出状況

細菌部 主任研究員 金谷 潤一

重篤な症状を呈することもある「レジオネラ肺炎」の原因菌であるレジオネラ属菌は、環境中に広く分布しています。国内の主な感染源として浴用施設が知られていますが、浴用施設を利用していない事例も報告されています。本発表では、浴用施設以外の環境中におけるレジオネラ属菌の検出状況について報告します。

② 薬剤耐性菌感染症に対する取り組みについて

～カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE) 感染症を中心に

細菌部 副主幹研究員 範本 志保

抗生物質が効かない薬剤耐性菌が世界的に問題となっています。わが国では昨年、薬剤耐性問題への対策に関する行動計画 (アクションプラン) が決定されました。当所では、平成27年より県内の医療機関で分離される薬剤耐性菌、特に、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE) について調査を行っています。今回は、その結果と併せて、医療機関の薬剤耐性検査を補助する体制について報告します。

③ 手足口病の流行と原因ウイルスの疫学的研究

ウイルス部 主任研究員 板持 雅恵

手足口病は、乳幼児を中心に夏に多発するウイルス感染症です。主な症状は、発熱、手や足、口腔粘膜における水疱性の発疹です。保育園等の集団生活の場や家庭内でウイルスが伝播します。本研究では、富山県における手足口病の流行と原因ウイルス、県民のウイルスに対する免疫の程度 (抗体保有状況) やウイルスの抗原性状解析結果を報告します。

④ 風邪の原因ウイルス調査

ウイルス部長 小淵 正次

急性呼吸器感染症、いわゆる風邪は大半がウイルスの感染が原因で起こります。その代表はインフルエンザウイルスですが、他にも多くのウイルスが関わっており、血清型も含めると200種類以上にも上ります。本発表では、これまでの調査でわかってきた県内の風邪ウイルスの流行実態について報告します。